

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	駅前広場等維持管理事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法第24条の2に基づき駐車料金を徴収する自動車駐車場に関する条例

【事業概要】

現状と課題	駅周辺利用者の通行の安全を確保するよう、速やかな修繕による維持管理を実施しているが、経年による劣化による修繕が年々増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	駅周辺利用者の通行の安全を確保する。
対象 ※誰、何に対して	J R 加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 東加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 厄神駅前南北広場及び自由通路・J R 宝殿駅前南北広場及び自由通路等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 沿線の主要駅の駅前広場を維持管理し、速やかな修繕を行なう。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	52,706 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	6,300 千円
	その他特財	5,035 千円
	一般財源	41,371 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	02 道路橋梁維持費
細目	025 駅前広場等維持管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	52,706 千円	44,889 千円	50,669 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	主要駅駅前広場等を、利用者の通行の安全と市の玄関口として快適な空間に保つために、本事業を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	駅前広場等維持管理事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法、(通称)自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保や防災活動の円滑化、まちの美観の確保が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	放置自転車対策を進めることにより、駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図り、美しいまちなみの保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	交通手段として自転車を使用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	48,041 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,642 千円
	一般財源	46,399 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	48,041 千円	48,059 千円	51,313 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 事業のPR等で自転車の放置禁止は、市民に浸透してきている。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市内の自転車防犯登録台数	台	17,370	18,018	18,010

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
放置自転車等撤去台数	台	1,543	1,773	1,968
有料駐輪場利用率	%	65.9	68.8	69.6
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。平成27年度に放置自転車等の撤去台数が2000台を割り込んでいるが、今後更なる減少を目指す必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
撤去自転車等減少率(対前年比)	%	87	90		平成32年度	90
成果指標分析結果	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全も図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	駅周辺施設維持管理に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成29年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成28年4月の機構改革により交通政策課で所管している駐車場等の管理に要する一般的経費について、平成29年度から「駅周辺施設維持管理に要する一般的経費」として予算計上する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行する。
対象 ※誰、何に対して	駅周辺施設
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	160 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	128 千円
	一般財源	32 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	037 駅周辺施設維持管理に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	160 千円	98 千円	65 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

事務事業名	駅周辺施設維持管理に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	徐々にではあるが整理場の利用者は増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。路側帯に停車し乗客を乗降させていたツアーバスなどは、加古川B.Pへのアクセスに便利な本施設を利用する車両が増え、安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅北ロータリーの混雑解消を図るため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅北ロータリーの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	5,502 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,116 千円
	一般財源	3,386 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	043 加古川駅北自動車整理場管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	5,502 千円	6,324 千円	8,131 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	整理場の適切な維持管理が行われている。また、平成29年度より利用料金の上限設定を行い、利便性の向上を図っている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用数	台	206,227	193,438	174,137

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開場日数	日	365	365	365
活動指標分析結果	平成24年5月14日より供用を開始し、終日開業している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
1日当たりの整理場利用台数	台	565	530	477	平成32年度	450
成果指標分析結果	1日当たり約565台の利用があり、徐々に利用者が増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	新在家歩道橋維持管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	平岡地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	エレベーターの設置により、移動の利便性及び安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	エレベーターの各機能を常時適正に発揮させ、安全かつ良好な運転状況を維持するため。
対象 ※誰、何に対して	バイパス以北の住民。通勤通学等によるエレベーター施設利用者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	国道2号加古川バイパスの新在家歩道橋に設置されたエレベーターについて、国土交通省から委託を受け、市が維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	5,964 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,964 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	042 新在家歩道橋維持管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	5,964 千円	4,944 千円	4,968 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>エレベーターの適切な維持管理が行われている。JR東加古川駅と総合文化センターや加古川警察署等をつなぐ特定経路において、本エレベーターが果たす役割は大きく、引き続き適正な管理に努めていきたい。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	新在家歩道橋維持管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	神野駅南駅舎等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	神野駅の保守管理及び管理運営に関する協定書

【事業概要】

現状と課題	平成16年にJR加古川線が電化したことに伴い、同線の利用促進を図るべく、沿線各市の駅舎が更新された。本市では、地元住民から神野駅北口開設の要望が提出されたことを受けて、平成22年度に神野駅南北駅舎の更新を図り、JRと協議の結果、南駅舎は本市の管理となった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が安全かつ清潔に駅舎を利用できる環境を維持することにより、公共交通利用者を確保し、神野駅の都市拠点機能を高め、加古川線の利用促進も図る。
対象 ※誰、何に対して	神野駅周辺(神野町・平荘町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	神野駅南駅舎及び南広場等の清掃と目視点検による施設の維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	529 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	529 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	041 神野駅南駅舎等管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	529 千円	531 千円	532 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	神野駅南駅舎の清掃を実施し、安全かつ清潔に利用できる環境を維持することで、神野駅利用者の確保に寄与している。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	神野駅南駅舎等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱

【事業概要】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。
対象 ※誰、何に対して	車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	3,800 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,800 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	040 宝殿駅南駐車場管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	3,800 千円	3,466 千円	3,276 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、月平均1,000台以上の利用があり、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として定着しており、再開発事業が実施されるまでは継続していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
宝殿駅の利用者数	千人	7,142	7,215	7,273

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
駐車場収容台数(時間)	台	20	20	20
活動指標分析結果	20台の駐車枠を確保している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
1日平均駐車台数(時間)	台	39	39	37	平成32年度	35
成果指標分析結果	1日当たり約39台の利用があり、宝殿駅の利便性向上に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	5,362 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,362 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	044 厄神駅北駐車場等管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	5,362 千円	5,684 千円	6,332 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、JR加古川線の利用促進を図るためのパークアンドライド駐車場として整備しており、地域住民に対し利用啓発・周知を行い、さらなる利用促進に努めていきたい。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
厄神駅の利用者数	千人	623	653	655

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
駐車場収容台数(定期)	台	80	80	80
駐車場収容台数(時間)	台	25	25	25
活動指標分析結果	定期駐車と時間貸し駐車のを割合を適正に配分している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
月平均駐車台数(定期)	台	69	72.7	70.7	平成32年度	75
1日平均駐車台数(時間)	台	17.1	18.9	16.5	平成32年度	15
成果指標分析結果	定期駐車が月平均約69台、時間貸し駐車が1日平均約17台、月平均約510台の利用となっており、パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡駅舎等整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成30年度 ～ 平成32年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	撤去されたトイレについては、市で仮設トイレを設置している。駅舎リニューアルに向けてJ Rと協議しつつ取組を進めている状況である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	日岡山公園の玄関口としてアクセス拠点としての機能充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	日岡駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駅施設をリニューアルする。

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	4,968 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	2,484 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,484 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	035 日岡駅舎等整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	4,968 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駅舎リニューアルに向けて、J Rと協議しつつ取組を進める。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	日岡駅舎等整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
日岡駅の利用者数	千人	445		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
整備基本計画の進捗率	%	100		
基本・実施設計の進捗率	%	0		
工事の進捗率	%	0		
活動指標分析結果	平成30年度に整備基本計画を策定。今後、JRと協議を進めながら、平成32年度の工事着工に向けて工事設計を進める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
日岡駅の利用者数	人	445,665			平成35年度	450,000
成果指標分析結果	現時点では駅舎のリニューアルができていないため、分析することはできない。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	駅前の好立地を生かした街づくりや土地利用が出来ているとは必ずしも言えない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行するため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅等周辺整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関との調整や協議を行うとともに事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,054 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	233 千円
	一般財源	1,821 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,054 千円	1,333 千円	635 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	市街地再開発法、密集市街地における防災街区の整備促進に関する法律

【事業概要】

現状と課題	平成29年3月に寺家町周辺地区防災街区整備事業が完了し、地区の防災性の向上、賑わいの創出に寄与している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行する。
対象 ※誰、何に対して	中心市街地整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業に係る関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	466千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	466千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	466千円	448千円	235千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切かつ継続的に実施している。

事務事業名	中心市街地整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	厄神駅へのアクセス改善の為、平成23年度から道路拡幅整備事業に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行するため。
対象 ※誰、何に対して	都市改造事業（JR加古川線厄神駅等周辺整備事業）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関との調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

		平成30年度(決算見込)
事業費合計		45千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	45千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	021 都市改造事業に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	45千円	59千円	150千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成5年度 ～ 平成35年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地の整備が済み、都市計画道路・区画道路に接した家屋の新築が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市機能(生活環境・利便性・防災性)の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。
対象 ※誰、何に対して	・東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。・加古川駅利用者、南北東西交通幹線道路の利用者など都心へのアクセスを目的とする車両等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	58,148 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	58,148 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	58,148 千円	91,296 千円	26,063 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	長年膠着状態であった物件移転補償交渉が進み、道路整備延長とともに目標値に着実に近づいている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
都市計画道路整備延長	m	3,190		
区画道路整備延長	m	3,621		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
物件移転補償件数	件	416		
道路築造工事延長	m	6,811		
活動指標分析結果	平成30年度は、物件移転補償を2件実施し計416件となった。道路築造工事は、区画道路をL=35m実施し計L=6,660mとなった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
物件移転率	%	99	99	99	平成35年度	100
道路整備率	%	95	99	99	平成35年度	100
成果指標分析結果	物件移転補償率は99%（残り4件）。道路整備率は95%（残りL=327m）となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、密集市街地整備法、加古川市住宅市街地総合整備事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	篠原地区には、接道条件の悪さから老朽建築物が密集する地区が残っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅南西地区における防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川町篠原町および寺家町地区内(5.4ha)のうち、篠原地区(AB街区0.9ha)の権利者と居住者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	権利者を対象に、専門家によるまちづくり勉強会や個別ヒアリングを開催し、当該地区の課題解決策を住民主体で考える。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,808 千円	
財源内訳	国庫支出金	1,404 千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,404 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,808 千円	869 千円	503,194 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地権者のほぼ全員の個別事情やまちづくりへの想いを聞き取り、それを反映したプランを提案したが、事業化の合意には至らなかった。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
地区内の居住者数	人	308	313	296
防災街区整備事業の対象面積	h a	0.8	0.8	0.8
A B街区の面積	h a	0.9	0.9	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
準備組合(事業組合)の会議開催数	回/年	0	0	19
準備組合(事業組合)への補助金交付額	千円	0	0	503,194
まちづくり勉強会開催回数	回	0	3	
活動指標分析結果	平成30年度は地権者の合意形成が進まず、まちづくり勉強会が開催できなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
防災街区整備事業の施設整備の進捗率	%	100	100	100	平成30年度	100
分譲住宅の販売率	%	100	100	100	平成30年度	100
まちづくり勉強会への地権者の出席率	%	0	65		平成32年度	100
成果指標分析結果	まちづくり勉強会の開催がなかった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 平成32年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	J R 厄神駅へのアクセスの改善のため、平成23年度から、道路拡幅整備事業に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	J R 厄神駅へのアクセスの改善を行い、同駅の利便性の向上と J R 加古川線の利用促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 厄神駅への主要アクセス道路の整備工事を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	35,043 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	27,800 千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,243 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	031 厄神駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	35,043 千円	20,151 千円	10,306 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 道路拡幅用地の買収と整備工事を順次行っている。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民	人	9,532	9,022	9,918

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	460	390	149
活動指標分析結果	平成30年度は下村3号線の道路拡幅工事(L=90m)を実施し、道路整備延長の合計がL=460mとなった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	54	47	19.5	平成32年度	100
厄神駅の利用者数	千人・年	623	653	655	平成32年度	666
成果指標分析結果	事業進捗率は54%となった。厄神駅の利用者は、平成20年度の三木鉄道廃止後、ほぼ横ばいで推移している。					